

遺伝子組み換え作物・食品とは、ある特定の性質をつくるために、微生物など他の生物の遺伝子の一部を切り取って、その遺伝子に組み込む操作がおこなわれた作物のことです。

たとえば、除草剤耐性の性質を持った細菌の遺伝子を、大豆などの作物の遺伝子に組み込んだものがあります。

生産効率を上げるために開発された新しい技術ですが、その安全性、人や環境への影響は、まだにわからないことが多くあるのです。



### ◇死亡事故を起こしたサプリメント

過去、遺伝子組み換えを利用した食品で米を中心に38人もの死亡事故を起こしたサプリメントの「L-トリプトファン」。栄養強化の目的で、ブラジルナッツの遺伝子を入れた大豆からは、ブラジルナッツと同じアレルギー症状が引き起こされたというネブラスカ大学の報告があります。

### ◇食品表示は全てではない

日本での食品表示は、納豆、豆腐、味噌などの原料に使用された場合など30種類に限られ、しかも、全体の重量の5%以下であれば表示対象外となり、表示されずに消費者がわからないまま店頭に並んでいます。

また、家畜の飼料に使われていることもあります。でも、食肉への表示は対象外となつているため、私たちは知らないまま多くの遺伝子組み換え食品を口にしていることになります。

## 困難な

追跡可能性

## トレーサビリティ

私たちは知らないまま多く

の遺伝子組み換え食品を口に

しています。

があり、生物多様性、生態系への影響も懸念されています。

\*除草剤耐性作物とは、特定の除草剤が田畑に散布されても、その影響を受けない。大豆、ナタネ、トウモロコシなどの作物のことです。

### ◇平成26年7月9日意見書を提出

市民ネットワーク鶴ヶ島は、農林水産省消費・安全局に「遺伝子組み換えダイズ、ワタ及びトウモロコシの第一種使用等に関する意見書」を提出しました。

6月19日

### 鶴ヶ島市学校給食センター見学

昨年、太田ヶ谷に更新移転した学校給食センターを市民の皆さんと、見学してきました。小中学校6300食を作っています。

独立したアレルギー対応調理室、衛生面を追求したパスルー方式、エプロンや上履き、コンテナ等の色分けによる事故防止など随所に新たな施設ならではの工夫がありました。

素敵な龍のイラスト入り強化磁器、特産のお茶を使ったメニューの開発にも取り組んでいます。

最後に、遺伝子組み換え食品を使用しない事の徹底について今後も取り組んでいただきたいと、思いを伝えてきました。



どれだけ大変なのか体験！